

投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 (藤井 嘉彦)	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	-------------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.8 億円
		通常砂防事業 おとわだに 音羽谷川		内用地補償費	0.2 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
篠山市味間新 <small>あじましん</small>			H21	H21	H24
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、家屋、道路等を土砂災害から保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H = 10.0m, L = 70.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(一)加古川水系住吉川に流入する土石流危険溪流 ・近年の降雨により溪岸の浸食が進み、風倒木も多数発生しているなど、流域の荒廃が進行している。 ・溪床には土砂が厚く堆積しており、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約4ha(長さ400m、最大幅250m程度)に及ぶ。 ・ <u>人家67戸、音羽グリーンタウン自治会館</u> ・ <u>市道(約1,900m)</u>				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 ・平成20年度に土砂災害警戒区域を指定する予定であり、警戒避難体制を整備するなど、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。				
〔事業執行環境〕	・工食用道路として既存の林道が利用可能であるなど、事業執行環境は整っている。				
(3)環境適合性	・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・地元要望も強く、市の協力体制が整うなど、円滑な事業執行が可能。 以上より、H21年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

おとわだにがわ
音羽谷川
[篠山市]

計画概略図
縮尺 1:15,000

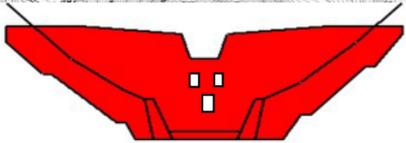


凡例	
	事業実施箇所
	土石流氾濫区域
	保全人家等



(一)住吉川

音羽グリーンタウン
自治会館



えん堤工 H = 10.0m、L = 70.0m

えん堤工

音羽谷川

流域面積 A = 0.60km²

